中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
	2000 11 900 1	HA	<u></u>
	1 5 百	学 部 19 年度	学 部 19年度
1	15頁		
1	資料 1151-3 ま	教育文化学部 <u>4</u>	教育文化学部 <u>2</u>
	表	計 <u>15</u>	計 13
0	17頁	生物と <u>物質環境</u> 成績分布図	生物と <u>環境物質</u> 成績分布図
2	資料 1161-2	(平成 18~19 年度)	(平成 18~19 年度)
	図		
	20頁)\(\)\(\)\(\)\(\)\(\)\(\)\(\)\(\)\(\)\(
3	資料 1171-1	・・・学業 <u>不良者</u> への指導を行った。	・・・学業 <u>不振者</u> への指導を行った。
	表「医学部」		
	23頁		NE TE IN THE A NICE THE LIFE FOR
4	資料 1172-2	・・・、進路相談、企業面接対策 <u>、</u>	・・・、進路相談、企業面接対策
	後学期計・右欄		
	47頁	宮崎大学医学部医学科(旧宮崎医科	
5	資料 1212-3	大学)は、・・・・・、医療過疎地	学)は、・・・・・、医療過疎地域は
	表	域は <u>依祭</u> として残された状況にあ	<u>依然</u> として残された状況にある。・・・
		る。・・・必要といえる。	必要といえる。
		さらに、現在の国立 <u>夫学</u> 法人宮崎大	さらに、現在の国立 <u>大学</u> 法人宮崎大学
		学は、・・・、地域 <u>寧着</u> の姿勢をより <u>明</u>	は、・・・、地域 <u>密着</u> の姿勢をより <u>明確</u>
		植に打ち出し、地域(地元)に・・・	に打ち出し、地域(地元)に・・・
	85頁	I 設置の趣旨・必要性	I 設置の趣旨・必要性
6	資料 1281-4		(1) 本研究科・・・・・豊かな学識
	表	を養うことを目的に <u>しきた。</u>	を養うことを目的に <u>してきた。</u>
	138頁	・・・、その中に <u>基礎研究者育成コー</u>	・・・、その中に研究者育成コースと
7	計画8-1	<u>ス</u> を設けた(資料 1281-4:P85)。	<u>高度臨床医育成コース</u> を設けた(資料
	本文5行目		1281-4:P85)。
	149頁	・・・社会問題となってきています。こ	・・・社会問題となってきています。こ
8	資料 1415-1	の様な状況 <u>に</u> 中で宮崎大学においては、	の様な状況 <u>の</u> 中で宮崎大学においては、
	表	学生のキャリア教育の・・・	学生のキャリア教育の・・・

	頁数・行数等	誤	正
	教育 1-3	4) 宮崎県との・・・多くの取組が継	4) 宮崎県との・・・多くの取組が継
1	資料 0-1・表	続的に行われている。17、 <u>8</u> 年度は教	続的に行われている。 17、 <u>18</u> 年度
	「学校教育課程・特徴」	員養成G Pに採択され、・・・	は教員養成GPに採択され、・・・
	教育 1-11	・ <u>前記</u> 授業評価結果をレーダーチャー	・前期授業評価結果をレーダーチャー
2	資料 1-2-3・表	 トにして比較検討がしやすいまとめ方	 トにして比較検討がしやすいまとめ方
	16 年度 3 行目	とした。	とした。
	教育 1-19		
3	資料 2-2-1・表	<u>未確定</u>	10名
	18 年度		
	教育 1-25	レジメを作らせる際に、 <u>テーチング</u>	レジメを作らせる際に、 <u>ティーチン</u>
4	資料 3-1-8・表	<u>アシスタント</u> に事前の指導を・・・	<u>グ・アシスタント</u> に事前の指導を・・・
	22 • TA 活用		
	教育 1-29	・・・「体験的活動」を通じての学び』	・・・「体験的活動」を通じての学び』
5	資料 4-1-4・表	11 年度〜18 年度まで毎年 <u>刊</u>	11 年度〜18 年度まで毎年 <u>刊行</u>
	②右欄		
	教育 1-30		
6	資料 4-1-6・表	_「1年次:」欄	<u>(削除)</u>
	学校教育課程		
	教育 1-42	・・・。これは私のこれからの学生生	・・・。これは私のこれからの学生生
7	資料 Ⅲ -2・表	活及び教師生活(採用されれ <u>ぱ</u> の話)	活及び教師生活(採用されれ <u>ば</u> の話)
	3行目	において、・・・	において、・・・

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 2-2 下から 9 行目	第一は、 <u>在校生</u> である。高度に専門 的な知識、・・・いる。	ーー 的な知識、・・・いる。
2	及び4行目 教育2-7 資料1-1-4・図	第三は、こうした <u>在校生</u> を・・・ 資料 1-1-4 <u>教育文化学部</u> 運営組織図	第三は、こうした <u>在学生</u> を・・・ 資料 1-1-4 <u>教育学研究科</u> 運営組織図
3	タイトル 教育 2-32 資料 5-2-3・表	①19 年度 川南町立中学校教員・右欄・・・音楽教育のカリキュラム研究 <u>を</u>	①19 年度 川南町立中学校教員・右欄・・・音楽教育のカリキュラム研究 <u>を</u>
		を通じて、・・・ ②19 年度 県立高等学校・右欄 ・・・、あらためて社会か教育が目	通じて、・・・ ②19 年度 県立高等学校・右欄 ・・・、あらためて <u>社会科教育</u> が目
		指す方向性や・・・ ③18 年度 宮崎市立中学校・右欄 ・・・。これまで自分が <u>教えて</u> 美術	指す方向性や・・・ ③18 年度 宮崎市立中学校・右欄 ・・・。これまで自分が <u>教えてきた</u> 美
		は、感性を培う・・・ ④18 年度 延岡市立中学校教員・右欄 ・・・かなりの量の文献を読むこと	術は、感性を培う・・・ ④18 年度 延岡市立中学校教員・右欄 ・・・かなりの量の文献を読むこと
		が <u>出来</u> 、「数学」という・・・ ⑤18 年度 三股町立小学校教員・右欄 ・・・課題として整理するいことが	が <u>でき</u> 、「数学」という・・・ ⑤18 年度 三股町立小学校教員・右欄 ・・・課題として整理 <u>すること</u> がで
	let de	できた。	きた。
4	教育 2-34 8 行目	ついての <u>在校生</u> の評価や、研究生とし て修学する・・・	ついての <u>在学生</u> の評価や、研究生として修学する・・・
5	教育 2-35 1 4 行目	大学院生と現職教員 <u>のとの</u> 協働活動 の有効性が確認された。	大学院生と現職教員 <u>との</u> 協働活動の 有効性が確認された。
6	教育 2-37 資料Ⅲ-3・表 1 5行目	形で、平日の夕方の開催は、多少でも 無理が <u>効く</u> のでありがたい。	形で、平日の夕方の開催は、多少でも 無理が <u>利く</u> のでありがたい。

	頁数・行数等	誤	正
	教育 3-3	医学部の教育目標を達成するために実	医学部の教育目標を達成するために実
1	(観点に係る状況)	施した組織編成資料1-1-3に示す。	施した組織編成 <u>を</u> 資料 1-1-3 に示す。
	4行目		
	教育 3-3	*備考:△印を冠するものは博士講座	*備考: <u>○</u> 印を冠するものは博士講座
2	資料 1-1-1・表	を、 <u>○</u> 印を冠するものは修士講座を、	を、 <u>△</u> 印を冠するものは修士講座を、
	*備考	無印は学科目を示す。	無印は学科目を示す。
	教育 3-4	・・・究及び開発 <u>等等</u> 医学教育改革推	・・・究及び開発 <u>等、</u> 医学教育改革推進
3	資料 1-1-4・表	進のため	のため
	H17•下段欄		
	教育 3-27		
4	資料 3-2-3	<u>生物学入MN</u> の受講者数(年度別)	<u>生物学入門MN</u> の受講者数(年度別)
	タイトル		

	頁数・行数等	誤	ΙΈ
1	教育 4-20 資料 2-1-12・表	2.教育の体系性(<u>医学科</u> 専攻)	2.教育の体系性(<u>医科学</u> 専攻)
2	教育 4-25 資料 3-1-1・表 注	注:網掛けは、緑色 20.0~39.9%、黄色 40.0~59.9%、橙色 60.0 <u>=</u> 79.9%、 ローズ 80.0~100%を示す。	注:網掛けは、緑色 20.0~39.9%、黄 色 40.0~59.9%、橙色 60.0 <u>~</u> 79.9%、 ローズ 80.0~100%を示す。
3	教育 4-30 (観点に係る状況) 1 1 行目	修士課程(<u>医学</u> 専攻)は、平成 15 年度に 設置され、・・・	修士課程(<u>医科学</u> 専攻)は、平成 15 年度 に設置され、・・・

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 5-38 資料 3-17・表	「計」の行	(削除)
2	教育 5-44 資料 4-8・表 2 目	・・・自己点検シートを書かせている <u>.</u> 以下 <u>は2名の</u> 学生の例を示す <u>.</u>	・・・自己点検シートを書かせている <u>。</u> 以下 <u>に</u> 学生の例を示す <u>。</u>

	頁数・行数等	誤	正
	教育 6-13	特別実習 博士後期課程の学生が,他	特別実習 博士後期課程の学生が,他
1	資料 2-8	大学,公立研究 <u>期間</u> あるいは・・・	大学,公立研究 <u>機関</u> あるいは・・・
	下から5行目		
	教育 6-16	・・・また、履修案内に、教育課程(資	・・・また、履修案内に、教育課程(資
2	(観点に係る状況)	料 2 - 1、2、3、4、P6- <u>3~4</u>) を記載し、・・・	料 2 - 1、2、3、4、P6- <u>7~9</u>) を記載し、・・・
	4行目		
	教育 6-21	・・・、JABEE認定修習技術者としての	・・・、JABEE認定修習技術者としての
3	資料 3-6	実践教育、博士 <u>前記</u> 課程の地域密着型	実践教育、博士 <u>前期</u> 課程の地域密着型
	4行目	学際・融合への展開、・・・	学際・融合への展開、・・・
	教育 6-21	(1)教育方法・教材の開発の右欄	(1)教育方法・教材の開発の右欄
4	資料 3-6	⑤ナノテク材料工学系教育推進プログ	⑤ナノテク材料工学系教育推進プログ
	[B]教育方法等の改善	ラムの教育 <u>カリキュ</u>	ラムの教育 <u>カリキュラム</u>
		(2) 修習技術者の実践教育の右欄	(2) 修習技術者の実践教育の右欄
		④ナノテク材料工学系教育推進プログ	④ナノテク材料工学系教育推進プログ
		ラムの教育 <u>カリキュ</u>	ラムの教育 <u>カリキュラム</u>
		(4)地域社会との連携の右欄	(4)地域社会との連携の右欄
		③情報ネットワークを活用した遠隔教	③情報ネットワークを活用した遠隔教
		育支援システムの <u>構</u>	育支援システムの <u>構築</u>
		⑤工学研究科博士前期課程でのインタ	⑤工学研究科博士前期課程でのインタ
		ーンシップの <u>取り組</u>	ーンシップの <u>取り組み</u>
	教育 6-37	・・・。また、学部と <u>較べて</u> 、修士課	・・・。また、学部と <u>比べて</u> 、修士課
5	(観点に係る状況)	程では大企業への就職が多くなってい	程では大企業への就職が多くなってい
	9行目	る。・・・	る。・・・

	頁数・行数等	誤	正
	教育 7-2	5 学科を設置し、それぞれ固有の教育	5 学科を設置し、それぞれ固有の教育
1	11行目	目的と特徴を <u>持たせたている</u> (資料 4)。	目的と特徴を <u>持たせている</u> (資料 4)。
	教育 7-4	・・・、専門科目ごとに設置されてい	・・・、専門科目ごとに設置されてい
2	資料 4	る 11 講座と附属 <u>家畜病院</u> が、他学科と	る 11 講座と附属 <u>動物病院</u> が、他学科と
	5) 獣医学科	協力しながら、・・・	協力しながら、・・・
	教育 7-19	・・・。入学時及び新学期初めには、 <u>教</u>	・・・。入学時及び新学期初めには、
3	(観点に係る状況)	育理念始め授業の履修方法・・・	<u>教育理念を</u> 始め授業の履修方法・・・
	6 行目		

	頁数・行数等	誤	正
	教育 8-9	・・・。さらに、各領域は <u>19</u> の教育研	・・・。さらに、各領域は <u>39</u> の教育研究
1	(観点に係る状況)	究指導分野から成っている(資料	指導分野から成っている(資料
	3行目	2-1)。•••	2-1)。•••
	教育 8-10	専攻共通科目の右欄	専攻共通科目の右欄
2	資料 2-1・2) 地域	地域資源管理科学特別 <u>研究</u>	地域資源管理科学特別 <u>講義</u>
	資源管理科学専攻	地域資源管理科学特別研究	地域資源管理科学特別研究
	教育 8-23	農学部の大学院課程修了生の進路 <u>又</u>	農学部の大学院課程修了生の進路 <u>及</u>
3	(観点に係る状況)	<u>はは</u> 就職状況を資料 5-1 及び 5-2 に示	<u>び</u> 就職状況を資料 5-1 及び 5-2 に示す。
	1 行目	す。	

	頁数・行数等	誤	正
	研究 1-7	・・・、本学部の研究目的に照らして	・・・、本学部の研究目的に照らして
1	下から1行目	期待 <u>されている</u> 水準にあると判断され	期待 <u>される</u> 水準にあると判断される。
		る。	

	頁数・行数等	誤	正
	研究 4-4~4-5	・・・、年度別では、平成16年度、5	・・・、年度別では、平成16年度、5
1	資料 1-2 · 2)	件、平成 17 年度、 <u>14</u> 件(うち外国出願	件、平成 17 年度、 <u>17</u> 件(うち外国出願
	下から1行目	3件)、平成 18 年度、 <u>14</u> 件(うち外国	3件)、平成 18 年度、 <u>17</u> 件(うち外国出
		出願3件)、平成19年度、 <u>10</u> 件(<u>内</u> 外	願 3 件)、平成 19 年度、 <u>15</u> 件(<u>内</u> 外国出
		国出願5件)と17年度から増加した。	願 5 件)と 17 年度から増加した。

	頁数・行数等	誤	正
	研究 5-4	国際会議プロシーディング <u>143</u> 件、国際	国際会議プロシーディング <u>142</u> 件、国
1	下から5行目	学会での発表件数 229 件であることか	際学会での発表件数 229 件であること
		ら、研究の高度化・国際化にも十分対	から、研究の高度化・国際化にも十分
		応している。	対応している。